

平成20年度 事務事業評価の結果

町では、第四次開成町行政改革大綱に基づく取り組みの一つとして、今年度から事務事業評価を本格実施しています。平成19年度に実施した事業を対象に行った評価(事後評価)結果をお知らせします。

企画政策課 ☎84・0312



これまでの 町の取り組み

事務事業評価は、行政評価の一つで、このほかに政策評価、施策評価があります。開成町の事務事業評価は、試行期間として実施した平成16、18年度の結果を平成19年度に精査して、その結果に基づき今年度から本格実施しています。

実施のねらい

事務事業評価を行うことで、次の三つの効果が期待できます。

- ① 町民の皆さんとの行政情報の共有
町の事務事業の点検・評価結果を公表することで、行政運営の透明化と行政情報の共有化を進めることができます。
- ② 無駄のない効率的な行政の実現
事業の必要性、有効性のほか達成度などを評価し、見直しに結びつけることで、無駄のない効率的な行政を行うことができます。
- ③ 職員の意識改革
評価の作業を通して、職員に町民の視点やコスト意識に基づいた行政運営を行うことの意識の徹底を図ることがつなげる。

事務事業 評価のやり方

事務事業評価の方法は、達成度、必要性、効率性および有効性の4項目(各項目は5点満点)について、各事業ごとに事業所管課が評価(1次評価)を行い、合計点に応じてAからDランクの4段階で評価されます。

また、1次評価の結果、CまたはDランクになった事業は、所管部長がさらに評価(2次評価)を行った後に最終的な評価が決定されます。

事務事業評価の結果

平成20年度の事務事業評価は、総合計画進行管理事業(289事業)のうち、平成19年度に事業が執行された220事業で実施しました。その結果は次のとおりです。

評価結果(1次評価)	
Aランク	80 事業
Bランク	136 事業
Cランク	4 事業
Dランク	0 事業
合計	220 事業

事務事業評価の例

事務事業評価を実施した事業のうち、いくつかの事業を紹介いたします。

ホームページ運営事業

企画政策課
町ホームページの管理運営

営。定期的な見直しと必要に応じた改修等。

【1次評価結果】 Bランク

【評価理由】
リアルタイムでの情報提供に努め、アクセス件数も平成18年度との比較で、年間約29000件増加した。

【今後のあり方】
バリアフリー化を含め、見やすさや使いやすさを求めていく。



見やすさ、使いやすさを追求していきます

ごみ減量対策事業

環境防災課
【事業概要】
生ごみ、剪定枝の資源化を

図り、資源化率を向上させるとともにもえるごみの減量を図る。

【1次評価結果】 Bランク

【評価理由】
引き続き減量化の努力をしていく。住民生活の根幹にかかる事業として重要である。

【今後のあり方】
施策の内容については、時代に適合したものにしていく必要がある。

つなげる。

【1次評価結果】 Bランク

【評価理由】
来客数も多く町を広くPRすることができた。

【今後のあり方】 町の主要イベントであり、広報活動やマスコミへの情報提供を強化し集客増をめざす。



生ごみの水切りをするとごみの減量になります

あじさい祭実施事業

産業振興課

【事業概要】

町の観光資源であるあじさいを核として、町を広く対外的にPRし、町民参加のもとに都市住民との交流の場として活用し、地域産業の発展に



あじさい祭の様子

結果の詳細は、町ホームページでご覧いただけます。

HP <http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/>



地域社会を住みやすく 開成町赤十字奉仕団

活躍しています!!

「社会のために何かしたいという思いはあるが、一人ではなかなか実行することができない」、そんな思いをもったことはありませんか。

日本赤十字社では、同じ思いの人たちが集まり、ボランティアで地域のニーズに合わせた活動を行う地域赤十字奉仕団を結成しています。

開成町でも平成18年に赤十字奉仕団が結成され、町内を中心に地域でさまざまな活動を行っています。

開成町赤十字奉仕団の藤本委員長に活動内容を紹介していただきました。

保健介護課 ☎84・0327

楽しみにできている
かたが何事もなく
過ごせるように

開成町赤十字奉仕団
委員長 藤本行和

開成町赤十字奉仕団の結成のきっかけは、平成17年に町で開催された救急法講習会を受講したかたが、講習会で学んだ救急法の知識・技術を自分たちの住む町に生かすため、町の防災訓練に参加したことでした。

その後も継続して地域の安全安心・防災まちづくりのために協力していこうという仲間が集い、赤十字の旗のもと、県内の地域赤十字奉仕団としては52番目の結成となりました。

現在の活動としては、あじさい祭などのイベント会場、病気やけがをした人の対応をするため、AED(自動体外式除細動器)を携行して会場内に待機しています。重症の場合、救急車が到着するまでの応急手当が重要になるからです。



開成町赤十字奉仕団の皆さん。前列一番左が藤本さん

町では、(財)小田急電鉄事業団から寄付していただいたAEDを、開成町赤十字奉仕団で活用していただくことにしました。

現在は定期的な救急法講習会を開催し、多くの住民に受講していただき、救護ボランティアの輪を広げていきたいと思っています。

ご支援ご協力のほど、よろしくお願ひします。